

NPO 法人 やまぼうし自然学校

ニューズレター

2014 年度 春号(5 月 10 日発行)

震災から 3 年。被災地の日も早い復興を祈りながら、一緒に、これからの生き方、暮らし方を見つめていきましょう。



2 匹のユキカタツムリ (スノーキャンプ in 信州)

代表理事よりご挨拶



加々美貴代 (がみちゃん)

春まだ早い森を観るのが大好きです。日々の変化も楽しめる上に、今の時期しか自己主張しない木々の様子が見られるから。「こんなところにいたんだね」と様々な樹種の確認の確認です。芽吹きころの「緑色」は樹種によって様々です。緑のグラデーションも楽しめます。私が発見を楽しみにしているのが、「カツラ」と「コブシ」桃色と白、樹形が目印です。意識して森を観てみてください。あなただけの楽しみが見つかることでしょう。

発行：特定非営利活動法人 やまぼうし自然学校
住所：〒386-2204 長野県上田市菅平高原 1223-5751
TEL：0268-74-2735 FAX：0268-74-2795 Email：info@yamaboushi.org
URL：http://yamaboushi.org

スタッフよりひとこと



保母 裕美 (ほぼちゃん)

この春、我が家の 3 姉弟はピアノを始めました♪4 年の経験者ながら久しぶりの長女はやる気に満ち、メロディオンしか知らない次女は案外器用でほめられ上手。ピアノをぶら下がり健康機にしていた弟も興味津々で楽しそう。まずまずのスタートです。



古川 明美 (けみちゃん)

地元・千葉にいた時は、お店に並ぶ商品のディスプレイや流れる BGM で季節を感じていましたが、今は芽吹く花や葉や雪解け水の流れる音で感じるようになりました。「今年は桜の草木染めしようね」「メイプルシロップを手作りしてみよう」そんな話題で盛り上げられる、今の環境がとても心地よいです。



長谷川 功 (はせじい)

4 月 2 日朝、激痛で病院に飛び込むと「椎間板ヘルニア」の診断。痛み止めで飲み様子を見ることに。歩くと痛みで力が抜ける。繁忙期を前に忙しい毎日のに。体の痛みは人間を弱気にしてしまう。早く平常に戻りたい！！



古川 誠 (じゃが)

自分全く駄目だなあと思う時もあれば、ちょっといい自分と思える時もある。それでいいんだと思える。苦しいのはしっかり苦いと感じ、嬉しい時はしっかり喜んで。自分の道は、自分で進むぞ。どんなことがあっても。



佐藤 美央 (みろりん)

3 月下旬、やまぼうしに来て初めての来客！！友人・知人の類はほとんどが関西以西。東京に辿り着くのも一苦労なところ、もうひと踏ん張りの長野にはなかなか・・・今回してくれたのは 25 年来の付き合いの友人家族。離れていても、会えばたちまち距離が縮まる・・・大切な大切な時間となりました。



後藤 かおり (ごっちゃん)

初めての冬の根子岳登山。最高の天気最高の青空。ゴーグルを取った瞬間「空ってこんなに青いんだ・・・これはヤバイ」心の底からそう思ったことに、とても幸せを感じました。ありがとう♪



石川 順子 (じゅんこさん)

首都圏業務のメインはシニア層を対象とする講座事業。今年は協働を含め 5 講座 8 クラス。自然をキーワードに集い、楽しい学びの時間がスタートする春。スタッフとのフィールド下見もまた楽し！



仲川 好乃 (よっちゃん)

2 月の関東甲信の記録的大雪ではお見舞い申し上げます。日陰ではいつまでも雪が残る、寒さが続いたので春は遅いかと思いましたが、一気に暖かくなり、鳥はさえずり、花は咲き、木々は芽吹き春は一斉にやってきました。自然の力強さを感じますね



瑞慶覧 明子 (すけちゃん)

突然思いついて、家の外に張り紙。「ゆるりと本でいっぱい OPEN」昔、呉服屋さんだった一軒家。玄関あけるとそこは、大きい土間にたくさんの本。だれか寄っていかないかな。通行人ウェルカムなわが家。

12・1・2・3月の実施事業

■事務局

林政審議会（12月11日、18日）、やまぼうし自然学校評価会（12月21-22日）、やまぼうし自然学校理事会（12月22日）、上田市林業振興協議会（1月29日）、技術交流会（1月29、30日 中部森林管理局）、キープ協会30周年記念（1月31日）、CONE指導者委員会（2月8、9日）、やまぼうし自然学校理事会（2月23日）、リスクマネジメント講習会（3月15日）、CONE理事会（3月18日）

■体験学習

羽生市立南中（12月4日）、桐光学園中（1月9日、10日）、桐光学園高（1月9日）、久喜市立菖蒲中（1月10日）、啓明学園（12月4日、1月17日、2月26-28日）、白岡町立南中（1月14日）、東大和第一中（1月21日）、墨田区立寺島中（1月21日）、小平六中（1月23日）、野田市立木間ヶ瀬中（1月27日）、あきる野市立増戸中（1月28日）、二松学舎大学付属高（1月30日）、行田市立長野高原学校（2月24日-28日）、淑徳小（3月16日）

■スキーをされない生徒様向けクラフト体験

国分寺第一中（1月14日）、法政高（1月16日）、杉並区立阿佐ヶ谷中（1月16日）、立川市立第八中（1月20日）、東村山市立第四中（1月20日）、久喜市立鷺宮東中（1月20日）、三芳町立三芳中（1月22日）、高知県立高知東高（1月27日）、大阪府立平野高（1月29日）、京都府立洛西高（1月29日）、京都府立西乙訓高（1月29日）、山口県立青嶺高（2月5日）

■森でモリモリ遊び隊／フォレストキッズ／キャンプ

やまぼうしウィンターキャンプ（1月4-6日）、遊び隊（12月1日、1月19日、3月9日 雪遊び）、フォレストキッズ（3月15日）、スノーキャンプin信州（12月26-29日、3月27-30日）

■イベント

しめ飾りづくり（12月23日）、スノーシュー観察会（1月17日 軽井沢）、スノーシュー観察会（2月2日 戸隠）、チーム腹時計（12月10日、1月14日、2月9日、3月9日）、いつでもガイド（1月27日、2月1日、10日、11日、23日、24日、28日、3月2日、7日、8日）、手前味噌づくり（3月2日）、チェーンソー講習&薪搬出（3月9日）、スキーピクニック（3月16日）、竹のかんじきづくり（3月29日）、やまぼうし自然学校東京支部10周年／満開桜イベント（4月3日 東京）

■講座

神奈川シニア自然大学（1月7日、21日、2月4日、18日、3月4日、11日 東京）、神奈川シニア自然大学ステップアップ（1月16日、2月13日、3月13日 東京）、彩の国シニア自然大学（1月8日、22日、2月5日、26日、3月12日、19日 東京）、彩の国シニア自然大学／公開講座（2月22日）、彩の国シニア自然大学・受講説明会（3月3-6日）、森を楽しむ講座・受講相談会（3月3日 東京）、神奈川シニア自然大学ガイダンス（3月8日）、森を楽しむ講座・チャレンジコース／インタープリター養成コース（3月29-30日 東京）、

■委託

長野大学（12月4日 講師）、上田環境市民会議（12月7日 やまぼうし活動紹介）、上小森林組合（12月14-15日 森林祭・リースづくり）、（株）ウィングル（1月11、12日 雪遊び）、リソー教育（1月11、12日 雪遊び）、SBCラジオ出演（2月11日、3月18日）、白樺湖（1月29-31日）、サッカースクール（2月1日 スキー）、加藤さん（2月8日 早稲田大学スキー登山）、上田市教育委員会・地域青少年育成指導養成講座（6月1日、29日、7月28日）、メンタルウェルネス（2月14、15日、22、23日 筑波大学）、黒川ネイチャーボランティア（1月12日、2月2日、3月2日）、CONE（2月16日 野外力検定）、小諸ミズオオバコ保全会議（1月25日）、森に学ぶネットワーク（3月1、2日）、スノーボールバトル（3月2日）、JONフェスタ（3月5-7日）、黒川自然体験フェスティバル（3月16日）、リラクオーレ（3月21日、マルシェ出展）、三浦市須坂市交流プロジェクト（3月22-23日）、CONE（3月29-30日、TOKYO outsideFestival2014 出展）

◆表紙写真説明

雪合戦で作った雪の壁、掘ってみたら中からかわいいカタツムリがでてきました。

祝 1 周年！新人スタッフ三者対談

それぞれ違う出身地の新人スタッフ、じゃが（古川誠）・みろりん（佐藤美央）・ごっちゃん（後藤かおり）。やまぼうしに集い、一年がたったところでどう？と聞いてみました。マイベースな 3 人。2 年目は馬力アップで頑張ってください！



Q. 事務所裏話なんてありますか？

A. 片づけをしていたら、色々な物が出てきますね。昔のイラストが沢山あって、石川さんの作品がすごいなと思いました。（ごっちゃん）

A. 僕のトイレの回数が多いのは、新陳代謝がいいからです！食べるとすぐ出る…←それで去年急に水道代が上がったのか？！→その可能性は否めない…（じゃが）

Q. やまぼうしに来てから、これは！と目覚めた瞬間はあった？

A. 遊びに来た友達に、「長野のいいところってどんなところ？」と聞かれて、暮らしが楽しいことに気づきました。美味しいものを食べ、自分の内面を意識する過ごし方ができるようになりました。大好きなガラス細工づくりも、楽しい暮らしの大切なひとときです。（みろりん）

A. 京都で開催された JON ミーティングでのこと。僕は自分で考え動くことが大事だから、子どもたちに伝えたいと思っていましたが、「自分のことが分かっていないのに無理だ！」とある人から言われました。子どもたちは自分で動いている人の姿を見て感じて、それから伝わるんだと言われハッとしました。自分が楽しめということですね。色々な経験や資格を取得したいです。（じゃが）

A. 雪の根子岳に登って景色に感動しました。山脈があまりにきれいで、また登りたいと思いました。木を切り倒すこともすごく印象に残っています。田村さんが方向を定め、大きな木をその重みでゆっくりと繊細に倒している、本当に感動しました。（ごっちゃん）

Q.他にすごいインブリさんはいますか？

A. 笠原さんの釣り。今度マンツーマンで教わります。岩岡さんはよく登山に誘ってくださいます。清水さんも。湯の丸で研修してもらいました！火山の説明が凄かった。清水さんはフルートが上手で、以前児玉さんのピアノとアンサンブルしたんだよ！インブリさん達はお料理上手で皆さんいろいろなものを差し入れご馳走してくれます。小宮山さんは出張手打ちうどん。鳥居さんのとろーりクリームシチュー。児玉さんのリンゴパイ。松田さんには、もう何年もコンニャク作り指導をしていただいています。料理じゃないですが、西澤さんの巨峰。修農園の桃とリンゴ。新着は石橋さんのザッハトルテ（チョコケーキ）等々、他にもここに書ききれないほどたくさんのインブリさんにいつもおいしいものをいただいています。スタッフ皆の元気の源です！（ほぼ）



Q.休みの日は何してるの？

A. ゴロゴロ、ぼーっとするのが好きです。（ごっちゃん）

A. きれいに手入れされたインブリさんの登山靴を見て、靴みがきにはまっています！（じゃが）

A. 洗濯。家事を思いっきりやります。家にいることが多い。（みろりん）

以上、ゆる〜い座談会を報告しました。

文：保母 裕美

遊び隊レポート

3月、森でモリモリ遊び隊の最終回は、今まで森でモリモリ遊び、たくましくなった隊員がお父さん、お母さんたちと一緒にイグルー作りを行いました。



年間を通して外遊びをしてきたみんな。ぐんぐん作り上げていきます。特に役割分担を打ち合わせしたわけでもないのに、ブロックを製造する隊員、それをソリで運ぶ隊員、さらにそれを積み上げる隊員、ブロックを積みやすいように整形してくれる隊員などなど、お父さんお母さん達も混じりながらイグルー完成を目指します。



ブロック運び

途中、ソリ滑りに夢中になったり、お父さんたちと雪を掘った場所を利用してスノーテーブルを作ったりなどは、お手のもの。「これやってみたい！」という心の声を大切にしたい遊び隊ならではの。



ブロック積み



腹すべり



表彰

イグルー完成の後は、終わりの会。一年間の活動をした隊員全員を表彰しました。「森でモリモリ遊んで賞！」皆が森で楽しむ力をたくさん持っていることを表彰しました。森は、「おもしろいと感じる視点」がなければ、「ただの森」。「おもしろい！」をどんどん見つけていくのが遊び隊。それは、森の素顔に向き合うことそのものです。

これは、森に限った事ではなく、何事にも言えるのではないのでしょうか。何事にも含まれる「おもしろい！」「おもしろい！」と自分が思える力。それは遊び隊の時だけじゃなく、どんな場所でもどんな時でも発揮できる力。これからも森でモリモリ遊び隊は、自分の「おもしろい！」を見つけていける場所であり続けたいと思います！

文：古川 誠

やまぼうしインプリ発信

～やってみる！なんとかなる！～

やまぼうし自然学校 インタープリター
久米 浩二



定年時代の記事を見て、家内から「参加してみたら？」とアドバイスがありました。2010年2月28日、新宿中央公園で開催された「森を楽しむ講座」ガイダンスです。リタイアを控えた、ちょうどよいタイミングでした。

若いころ大好きだった山歩きで見ていたのはいつも下ばかり。樹木は少しもみていなかったの、そんな勉強もいかなと安易な気持ちで向かいました。

ところが！

説明を聞き、いかに植物を知らなかったかに驚き、もっと知りたいという気持ちに迷わず申し込み！また、同じような気持ちの仲間がいることも驚きでした。これがやまぼうし自然学校とのめぐり会でした。



講義の内容は知らないことだらけ。特に、森林土壌についてはまったく無知で、ただただ驚くばかりでした。学生時代、興味がない生物は、単位をとるのがやっとだった自分が、自然（樹木）について目を見開かされることが多く、衝撃でした。

もっと深く勉強したい、知識欲に駆られるように、「森林インストラクター」の資格試験に無謀にもチャレンジすることにしました。試験は筆記中心、鉛筆を長い時間走らせたのは久しぶりで、腱鞘炎の一手手前になるほどでした。

ほどなくして、小学6年生に公園の樹木について説明するチャンスが巡ってきました。晴れてインタープリターの仲間入りできるかと思いきや、準備していた説明は難しかったようで、先生も手を焼くほどのやんちゃな子どもたちには、私の準備など誰知るものぞ。それでも何とかデビューを遂げたのでした。

デビュー後、都内森めぐりコースのインタープリターをしてみないかと誘いを受けました。



勤まるだろうか？と悩みましたが、そこは、前向き・プラス思考あるのみ！何とかなるだろうと引き受けることにしました。

2年間で感じたことは：

- 1) 新しい知識を吸収する喜びの大きさ！（意欲のままに勉強することはなんと楽しいことか！学生やサラリーマン時代には得られなかった喜び。）
- 2) 自分が納得した説明を理解してもらうことの面白さ！
- 3) 適度な緊張感の中でインタープリテーションする満足感と達成感！
- 4) 頭が活性化するという勝手な思い込み
- 5) 質問に答えられなかったら？という恐怖心を、「何とかなる」のケセラセラで押さえ込むプラス思考が大事！

インタープリテーションの準備は大変な時間を要しますが、学習、知識の取得が面白いと感じます。かっこいい言葉では「生涯学習」というのかもしれないが？ボケ防止に役立ち、仲間も社会とのつながりもでき、一石数鳥ではないでしょうか？高齢者が増加し、政府や社会からは自助努力がささやかればはじめた時代に、お金があまりかからず、頭の活性化、少しの体力維持で多くの効果が得られ、これも元気な中高年のひとつの生き方と思います。



これからも、やまぼうしの活動で仲間づくりができ、心身ともに健康を維持し、少しでも社会との関係をキープできれば良いと思うしだいです。



社会との関係も、中高年はもとより小学生とのふれあいで元気をもらうことが出来るのは、なかなか願っても出来ることではありません。樹木の理解、自然界の理解も深まるほど、散歩していても、今までと違う眼で自然を見ることが出来るようになりたいなあと感じている今日このごろです。

答え：これな～んだ！

- A・・・サルの足跡
- B・・・オオカメノキ。おもしろシュワッチ
- C・・・凛と咲くフクジュソウ
- D・・・サクラの花びらの中に小さな花びら♪

【埼玉校】フォレストキッズ



12月14日 森の宝さがし&クラフト作り



見てみて！これも見て！



森のめぐみでクラフト作り



大事件 散乱している鳥の羽

1月11日 どんと焼きで無病息災



どんと焼き



煙の片付けも楽しいね



無病息災を願い おもち、ウイナ-？いろいろ焼いて食べました

2月22日 クマさんの畑で雪遊び



おしり滑りもサイコー



なんでこうなっちゃったの？



竹で作ったスキーに挑戦

3月15日 菅平高原雪遊び&1年間のまとめ



切り出した雪はそりで運び・・・



雪をのこぎりで切る？？？



雪を積み上げイグルーの完成

子どもたちの好奇心が、沢山の不思議を見つけ、感動と笑いと楽しい活動になりました。ときどき、ざちょうの「こら～」の声も良い思い出となる事と思います。

【長野校】やまぼうしインタープリター養成講座



今年で4年目となる本講座。4月9日と13日に第一回がスタートしました。『やまぼうし流インタープリテーションを学ぶ』と題し、やまぼうしの歩みや環境教育の変遷を学ぶ講義の後は、“木の輪切りのネームバッジ作り”と“窯ピザ作り”。インタープリターの関わり方によって子どもたちの学びがいかに深まるかを体験いただきました。

間伐材がネームバッジに。間伐材の薪がピザの燃料に。笹を摘んで笹茶作り。『そこにあるもの』で、協力して一つのものをつくる。そのワクワクを楽しむ。初対面で緊張している者同士、五感で音、におい、温度等を共有すると、自然と心がほぐれてきます。そして、感じたことを新たな仲間と共有することができたら、こんな素敵なことはありません。

やまぼうしインタープリター養成講座は、全6回。水曜日と日曜日同じ内容で開催し、どちらかを選択することが可能です。全部参加はもちろん、1日だけをお選びいただくこともできます。今からでも間に合います！ぜひお問い合わせください。



自然学校とは？



何みつけた？



火おこしとは？

【東京校】森を楽しむ講座 2014 スタート！



満開のサクラに迎えられ、3月29日から西新宿でスタート。森林インストラクターチャレンジコース、やまぼうしインタープリター養成コース双方で8名余で和気藹々と。今年度は長野スタッフ数名も受講を希望し、はるばる上田から参戦予定です。



緊張のスタート



自己紹介



森への第一歩！

大好評の都内森めぐりコースは5月開講。ピギナークラスはまだ若干空席あり。引き続き申し込み受付中です。スケジュールはHPをご覧ください。

【東京支部】満開桜イベント

お陰さまで、やまぼうし自然学校東京支部は今年 10 周年を迎えます。支部設立当初より、首都圏自主事業の「観察会イベント」にご参集いただいている皆様、変わらぬご愛顧をありがとうございます。4 月 3 日に「やまぼうし応援団」ならぬイベントリピーターの皆様をご招待し、小石川植物園にて〈満開サクラ観察会〉を開催させていただきました。



文：後藤かおり

長野校のスタッフも助っ人として参上！天気は雨でしたが、サクラは満開。その景色に身をおきながら、ただただその美しさに感動しつつ、皆さん、サクラをじっくりと見て、熱心に観察をしていました。サクラというと、ソメイヨシノが一般的だと思うのですが、実は様々なサクラの種類があります。



この写真のサクラも、右側の方がピンクが強く、左側の方が白っぽく見えませんか？花びらが白いサクラは、オオシマザクラ系のサクラです。ちなみに桜餅の葉は、オオシマザクラの葉です。オオシマザクラの花のにおいを嗅いでみると・・・なんと、桜餅のにおいが！！この匂いは「クマリン」という成分だそうです。

本日じっくりした写真を一枚。下写真のサクラの花びらの中をよーく見てみてください。花びらの中に 2 枚小さな花びらが見えませんか？これは、雄しべが進化して花びらになったもので旗弁（きべん）といいます。長い年月の過程で、旗弁が大きく進化し、八重桜になります。なぜ雄しべが花びらに進化したのでしょうか？不思議です♪花びらを増やすと、目立つから、花粉を運んでくれる鳥やハチが寄ってきて数を増やすことができると、サクラは？考えたのでしょうか。



散策した後は、向島長命寺の桜餅と緑茶でゆったりとした時間を。天気は雨でしたが、素敵な傘を発見。今日は雨の小石川植物園を満喫したので、次回は晴れの日にお会いしましょう♪

日頃より、東京支部を支えてくださっている皆様、本当にありがとうございます。

今後ともやまぼうし自然学校東京支部をよろしくお願いいたします。長野の皆様も、ご都合がついたときは、東京にもいらしてください。お待ちしております。

【スタッフ元気の源 人】

みなもとひと

五流の雲海 with すけちゃん

～私は何者？？～

「にくちゃんは（やまぼうしと）どういう関係なんですか？？」

事務所に遊びに行くとき時々受けるこの質問。「う～ん・・・」自分でも答えられない（笑）。自己紹介させていただきます。上田市在住の会社員、佐藤良孝（さとう よしたか）と申します。年齢は、長谷川さんより若いけど、ごっちゃんより年とってます・・・。自称、「密接部外者」。特に冬の午後、スキーの帰りに事務所でコーヒー頂いてます。かれこれ 8 年のお付き合いになります。



2005 年に転勤で上田に引っ越して来た際、当時小学生の娘二人が学校から「森でモリモリ遊び隊」のチラシをもらってきました。娘二人は「行ってみたい！」、私は「やまぼうし？何じゃこりゃ？」それが第一印象（ゴメンなさい）。当時は参加費も安かったし、「ま、行ってみるか」（重ね重ねゴメンなさい）。

その頃の遊び隊は、すけちゃん、きたちゃん（北川絵里）、アッキー（佐藤明希）の 3 人が中心でした。後で知ったのですが、今でこそ歴史のある遊び隊も当時はまだ二年目。手作り感満載、ツッコミどころ満載（笑）。

ひとつ忘れられないエピソード。遅刻する父兄が多く、開始時間は毎月遅れていました。結構いい加減な私ですが、時間だけは気になるんです。「時間通りに始めません？ちゃんと来ている子が待たされるのは納得いかない」って、すけちゃんに言ったんです。次の月から 3 人はちゃんと修正してくれました。これには感心。さすがです。彼女たちを一目置くようになりました。

とても楽しく有意義な遊び隊でしたが、ひとつ反省は、同じ会社の友人（そこも子ども 2 人）と参加したため、ほとんど 4 人一緒に行動しており、遊び隊での新しい友達ができなかったこと。せっかくのチャンスを無駄にしちゃいました。その点、いまの遊び隊は良いのかも？

子どもたちが遊び隊を卒業して何年かして、ひょんなことからスタッフ 3 人と飲む機会があり、思い出したエピソードです。それからは、父ちゃんがやまぼうしに夢中です。



私自身、星を見たり、里山歩いたりする程度で、自然の中での活動にそれほど深い興味がある訳ではないのですが、このアットホームな手作り感満載の「（NPO）法人」に惹かれて、ここ数年謎の密接部外者を続けています。とはいえ、だんだんスタッフに洗脳されつつある中（笑）、果たしてインプリになるのか？会費を払うのか（笑）。乞、ご期待！！どこかで見かけたら声をかけてくださいね！！

（左写真ほぼ真ん中、黒い帽子にくちゃん）

新コーナー「スタッフ元気の源人」がスタートします。

会員でもない、スタッフの親族でもない（笑）けど、やまぼうしにいつもパワーをくれる源人。第一回の「にくちゃん」は、スタッフが初めて交流をもった“遊び隊のお父さん”。事務所に来ると、固くなったスタッフのアタマをほぐしてくれるにくちゃんに会いたい方は、晴れた日の週末、ゲレンデで遊んだ後の午後がおススメです！（すけちゃん）

これな～んだ！

周りを見渡せば、冬から春へと向かっている今日この頃。
おもしろ足跡、冬芽そして花。どうですか？ちょっと心がほっこりしませんか？



A



B



C



D

～・・・会員と読者の交流ステージ～・・・～

上田の街中にアウトドアスポーツ、活動のベースがオープン。

「アウトドアスポーツのフィールドが街からこんなに近いのに拠点がないのはおかしいなあ。上田にベースをつくろう。」そんな思いからアウトドア好きの仲間やアスリートが集まって開設するのが「**信州上田アウトドアビジターセンター**」。アウトドアスポーツに熱いメンバーが、上田・

MTS デザイニング 田中崇



東信州をアウトドアのメッカにすべく、活動を開始しました。
プロスカイランナー（山岳ランナー）の松本大選手が中心となって昨年設立したジャパンスカイランニング協会の事務局も併設。アウトドアビジターセンターでは、上田・東信州のアウトドアフィールドの紹介や、アウトドアスポーツのツアー、イベント、講習会の開催や紹介の他、アウトドアグッズの販売等を行います。（当面は、トレイルランニング用品が中心となりますが。）

すでに 4 月から、周辺の山々でトレイルランニングツーリングやマウンテンバイクのツーリングイベントを行っています。これからは千曲川のカヤックツーリングも開催します。
やまぼうし自然学校やうえだミックススポーツクラブなど地域のクラブとも連携し、地域の自然を活かしながら、多くの方々にアウトドアスポーツの楽しさを体感して頂き、自然と共生する喜びを味わって頂けたらと思っています。上田市にお越しの際には是非、お立ち寄り下さい。

信州上田アウトドアビジターセンター

〒386-0012 上田市中央 2-4-13 1F（松尾町・原町通り沿い、セブンイレブン向かい）

体験学習って、なに？



文：佐藤美央

この記事を書くにあたり、体験学習ってひとことで何？と考えたら…
「ワクワクを生みだすきっかけ作り」という言葉が浮かぶ。

田舎で生まれ育った私は、学校からの帰り道、レンゲの蜜を吸ったりクワの実を食べたり、ランドセルをほうり投げてザリガニ取りに夢中になるのが常だった。野っばらにいる毛虫を「飼っている」と言い張り、手にのせてかわいがり、全身にプツプツができたこともあった。目で見て好奇心がくすぐられ、匂いをかいで、触ってみる。食べられるものはとりあえず口にいらてみる。これが、私の考える「体験学習」。身を持って、五感で学ぶ事。そこには、子どもたちのココロに潜んでいた“ワクワク”が湧きあがるきっかけがある。もっと知りたい！の原動力だ。

体験によって何を学ぶかは、ひとそれぞれだ。好奇心がくすぐられる“ツボ”が違えば、好き嫌いも違う。そして、「好きか嫌いか」は身をもってこそ獲得できる感覚。人が苦手だという味が美味しく感じるかもしれない。いい匂いだと言われても、臭いと感じるかもしれない。毛虫は触らないのがフツツなのに、どうしても触ってしまうかもしれない。

今や、インターネットで大抵のことは調べられる時代だからこそ、調べることができない「感覚」を大事に育てたい。自分の気持ちと向き合うこと、そのものだから。ワクワクの小さな一滴は、好奇心の流れにのり、意欲と学びの大河となる。体験学習は、一滴にも、流れにも、大河にもなれる。

なぜかワクワクしないとき、仲間がきっかけをくれることがある。いつもより大きく深呼吸してみてもいい。子どもたちのパワーはすごい！！いつにない体験とを感じるやいなや、目がキラキラしてくる。山道を歩いて思いもよらない注意が必要なとき、苦労した火熾しが、コツをつかみいとも簡単にできたとき、皆で作ったバームクーヘンが、不恰好なのに大満足の味がしたとき、子どもたちは輝いている。失敗したっていい。そこから学ぶことのワクワクもまた、大きい。

「菅平から戻ってからの子ども達は何かが違う」と教えてくれる先生がいた。きっと、ワクワクのコツをつかんだ子ども達が、学校でも続きを楽しんでいるのだと思う。新しいことへの挑戦、友だちが喜びそうなあんなこと、こんなこと。またある時は、「新学年なので、何か打ち解ける為の活動を・・・」という依頼をうける。先生が日頃子どもたちを見て感じていることを踏まえ、少しでも次のステップに踏み出すお手伝いをさせていただく。体を動かして一緒に課題に取り組めば、友だちの新たな一面が見えてくる。

ほんの数時間、たった数日の体験学習で湧き上がる無数のワクワク。
体まるごと使った経験が、学ぶ楽しさにつながる無数の一滴。
子ども達のワクワクを、一緒に見つけにきませんか？

2013 年度総会を開催しました

2月23日(日)、やまぼうし自然学校の定例総会を、上田市中央公民館で開催しました。2013年度の事業報告・会計報告および2014年度の事業計画が決議された中、正会員より、「リスクマネジメントチーム」を新たに結成してはどうかと提案されました。正会員は、最前線の現場で意欲的に活動する指導者(インタープリター)でもあります。やまぼうしの安全管理を、自分たちが担う!という心強い提案に、やまぼうしのさらなる進化を確認しました。今後も、お一人でも多くの方に正会員として、自然学校の運営に携わっていただけるよう努めてまいります。やまぼうし自然学校の事業報告書はホームページからご覧いただけます。
<http://yamaboushi.org/about/annualreport.html>

総会後は、「川の安全と対策を学ぶ」と題して勉強会を実施しました。講師は、川に学ぶ体験活動協議会トレーナーの板倉浩幸氏。川での活動の危険予知と遊びの楽しさを講義いただきました。千曲川での活動を視野に入れ、これからもさらに、自然体験の場を有意義なものにしていきます。



イベント情報 (主催)

春・夏の休日は、森でのんびり過ごしませんか?

森で過ごす^{とき}と、身も心ものびのび伸びて、心に笑顔の風が吹き抜ける。だれもが一度は、こんな経験があるはずです。

私たちは、森で過ごす^{とき}時がきっかけとなり、出会う人同士が笑顔で元気になるような、そんな森の時間をたくさんの人と分かち合いたい。森の力は、人のエネルギーとなって、まさに元気が降り注ぐ、そう信じています。

自然豊かな日本。人と一緒だと、ひとりでは気づかない森の恵みに出会うチャンスが広がります。いつの日も、森が暮らしのパートナーとなり、人がつながり人を元気に。そんな地域づくりの一助になりたい。私たちのイベントは、春夏秋冬いとりどり。ぜひ、お出かけください。

♪森あちよびクラブ♪ (長野校)

森の中をずんずん探検。子どもたちの“アンテナ”がキャッチするのは、森のキラリ! 親子で森を楽しみましょう。

日時 6月21日(土)
7月12日(土)
10時~昼食後解散
会場 菅平高原
参加費 親子1組 1,000円/回



♪山菜パーティーと春探し♪ (長野校)

地元の山の名人にとっておきの山菜を教えてください!

日時 5月25日(日) 10:00~15:00
場所 上田市 入軽井沢館(真田町)
参加費 おとな 3,000円、小中学生 2,000円
幼児 1,000円



♪東久留米自然観察会♪ (東京校)

落合川と南沢湧水群・水の回廊

日時 5月10日(土) 9:30~15:00
集合 西武池袋線/東久留米駅改札
参加費 3,000円(会員1割引)
募集人数 25名 先着順
※東京支部へ電話でご確認ください
申込締切 5月7日(水)



♪堂平山(どうだいらさん)登山観察会♪ (東京校)

奥武蔵唯一の一等三角点 眺望抜群!

日時 5月24日(土) 8:30~16:00
場所 東武東上線/小川町駅
参加費 3,500円(会員1割引)
募集人数 15名 先着順 ※会員&リピーター限定
申込締切 5月21日(水)

